



福島医大ふくしま子ども

女性医療支援センター教授

高橋 俊文氏

月経困難症は「月経中の半数が原発性月経困難症という報告がありま

痛によって日常生活に影響を与える状態」を言います。月経困難症は、子宮・腔の奇形、骨盤内感染症、子宮内膜症、子宮筋腫、子宮筋腫などが原因である「続発性月経

断は続発性月経困難症の除外が基本です。思春期の女子に認められる重度の月経困難症の中には、子宮・腔の奇形により月経血(剥がれた子宮内膜)が排出されにくい場合が

あります。また、性交年齢の低年齢化により、クラミジア・淋菌が原因の骨盤内感染症による月経頻度に引き起こすことが

原発性月経困難症に効果のあるホルモン療法として、経口避妊薬(OC)と低用量エストロゲン・プロゲステン(LEP)製剤があります。経口避妊薬は自費診療となりませんが、LEP製剤は月経困難症の治療薬として保

また、内服薬ではなく子宮内に装着するタイプの「子宮内黄体ホルモン放出システム」も原発性月経困難症に効果の高い治療法です。これは、子宮内に装着後五年間使用することが出来ます。「当归芍薬散」「加味逍遙散」「桂枝茯苓丸」「芍薬甘草湯」「桃核承気湯」「当归建中湯」などの漢方薬も原発性月経困難症に効果があるとされています。

# 治療に多くの選択肢

困難症も増えていきます。

原因です。プロスタグランジンの産生を抑える消炎鎮痛剤が薬物療法の第一選択薬です。消炎鎮痛剤の効果が無い場合や胃腸障害により消炎鎮痛剤の内服ができない場合は、ホルモン療法や漢方療法が適応となります。

除適応となっています。経口避妊薬・LEP製剤の中に含まれる黄体ホルモンの作用により、月経血が減少し、子宮の収縮が低下することで月経時の下腹部痛が緩和します。初経発来後であればOC・LEP製剤の投与を開始することが出来ます。

以前と比べ、現在では原発性月経困難症の治療として多くの選択肢があります。繰り返し月経困難を自覚する際には、月経痛を我慢しないで、産婦人科医に相談してください。

「原因を認めない」「原発性月経困難症」に分類されません。ある調査によると、二十歳から四十九歳の女性の約80%が月経困難症を経験しており、そ

原発性月経困難症の診断は続発性月経困難症の除外が基本です。思春期の女子に認められる重度の月経困難症の中には、子宮・腔の奇形により月経血(剥がれた子宮内膜)が排出されにくい場合が

暖めること、ストレッチ運動などがあります。月経中の下腹部痛は、月経

## 原発性月経困難症

暖めること、ストレッチ運動などがあります。月経中の下腹部痛は、月経